

2010.2.8

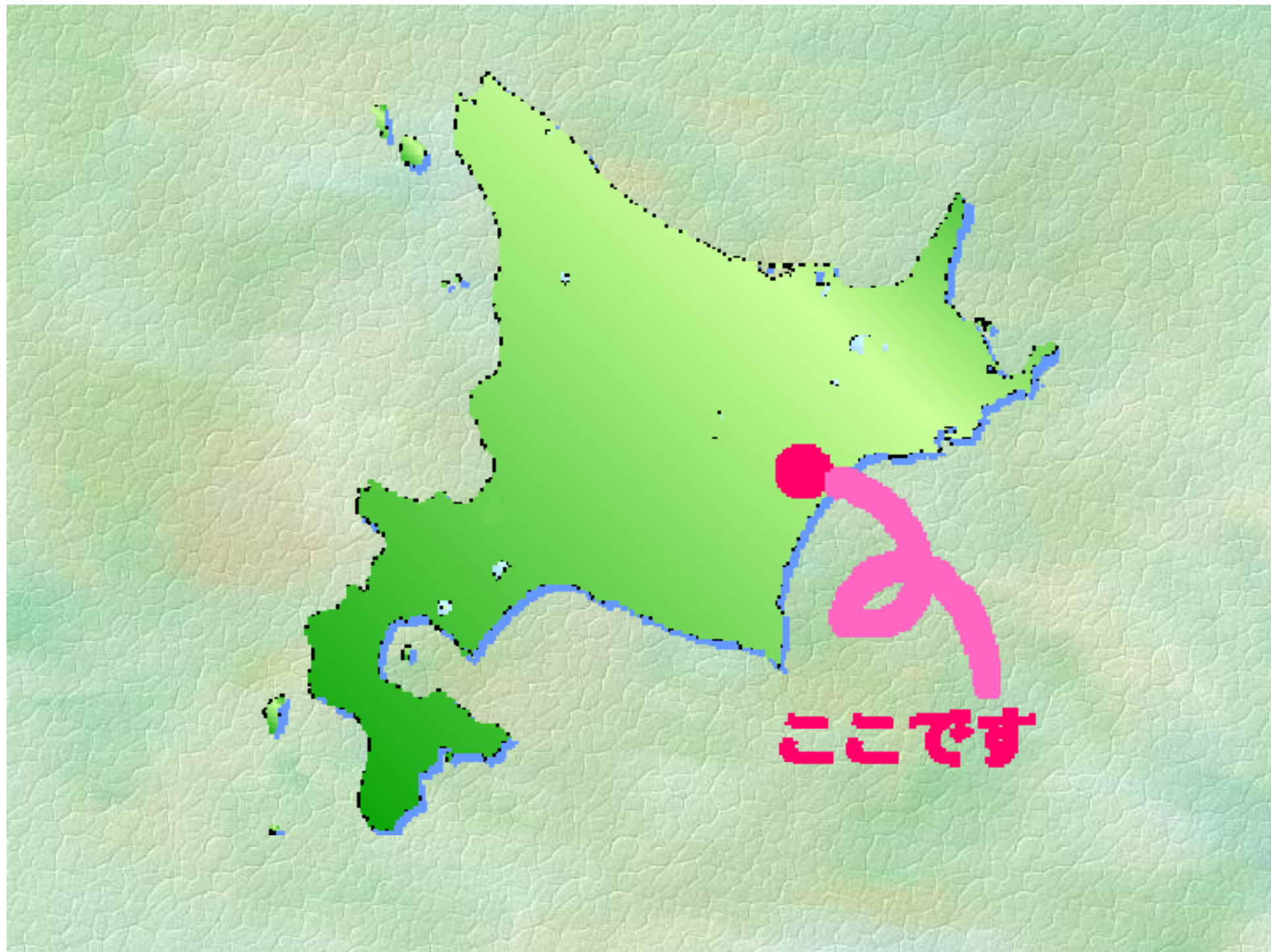
# 公共牧場の運営改善

浦幌町模範牧場

牧場長 三宅英彰

## 浦幌町模範牧場の経営概要

- ・ 設置事業名                      共同利用模範牧場設置事業
- ・ 管理、運営主体                浦幌町
- ・ 供用開始年                      昭和52年
- ・ 草地面積                        314.1 ha
- ・ 預託頭数                        夏期放牧 700頭、冬期舎飼500頭  
   哺育育成 150頭
- ・ 職員数                            9名







# 浦幌町模範牧場の経営

項 目	効		果
集約放牧の実践	肥料費が適正	肥料費の減	
	高栄養の放牧	育成の評価が上がる	入牧頭数の増
		補助飼料の減	
	放牧管理の効率化	人件費の減	
コンピュータによる管理	授精成績の向上	育成の評価が上がる	入牧頭数の増
	牧場作業の効率化	人件費の減	
	預託牛管理の適正	人件費の減	
入退牧時の運搬サービス	預託者の労力軽減	入牧の促進	入牧頭数の増
発酵牛床の実践	敷料の減	敷料費の減	
	敷料交換の労力減	人件費の減	
哺育牛からの預託育成	酪農家の労力減	入牧の促進	入牧頭数の増
	若牛の入牧増	入牧期間の延長	入牧頭数の増
下水道汚泥処理施設による堆肥づくり	良質堆肥の作成	肥料費の減	
			収入の増
			支出の減



施設概要	飼育方法
<p>D型ハウス内で飼育.....最大120頭収容  自動授乳機械で哺乳.....日量4kgを4回に分けて授乳</p> <p>自動給飼機械で離乳.....コンピュータ管理のスター給与による確実な離乳</p> <p>集団飼育.....個体隔離飼育と異なり仔牛の時から集団性が養われる</p> <p>疾病対策.....疾病牛は隔離治療のためかかりを完備</p>	<p>授乳期間.....生後二ヶ月(50日)で離乳</p> <p>その他の飼料.....哺乳期間前半はスター少量自由採食、後半は自動給飼機械による離乳に向けての計画給飼  乾牧草は終始不断給飼</p> <p>給水.....微温湯を不断給水</p> <p>健康管理.....毎日二回の検温と監視による管理</p>
対象月齢	預託料金
<p>哺乳をする牛.....生後8日目～満60日未満</p> <p>哺乳をしない牛...離乳している牛で満6ヶ月未満</p>	<p>哺育料金.....一日一頭当り：220円(税別)</p> <p>(参考) 哺育+育成で最低料金は225,550円  " 最高料金は264,550円  " 平均料金は245,050円となります。</p> <p>在牧期間を670日、14ヶ月受胎とする。</p>
受入頭数	その他
<p>本年度は毎月20頭の受入を予定しています。</p> <p>毎週火・木曜日が受入日となります</p>	<p>入牧中の除角は牧場が行います。</p> <p>血統登録の斑紋採取も牧場が行います。</p>











放牧地植生の特徴はシロクローバが多い



# 浦幌町模範牧場の経営収支

